

「こうのとりのゆりかご IN 関西」発足記念大会

「どんないのちも輝いている」

どのような事情で生れてきても、命そのものが大切にされる社会へ

講演



講師 人見滋樹氏
(京都大学名誉教授)

提言



関西に第二のゆりかごを！
蓮田太二氏
(慈恵病院理事長)

蓮田太二氏 ～プロフィール～

熊本大学医学部卒業。医学博士。1969 年より
熊本慈恵病院に勤務。

2007 年5月、新生児
を匿名で受け入れる
「こうのとりのゆりかご」を
日本で初めて開設。



妊婦が抱える問題に寄り添って 事例報告
姫路聖マリア病院 看護副部長

人見滋樹氏 ～プロフィール～

京都大学医学部を昭和 36 年に卒業。

京都大学時代には肺癌を中心とする呼吸器外科、および脳
死肺移植の臨床と研究を行い、脳死臓器移植立法成立に
貢献した。京都大学退職以後は緩和医療や障がい児支援
の運動に力を入れ、人間の生き方を問い続けている。

高槻赤十字病院に緩和ケア病棟を設立し、第一回癒しと安
らぎの環境賞・ホスピスの部の最優秀賞(審査委員長は日
野原重明先生)を受賞した。

現在 日本カトリック医師会・会長

3月19日(土)

13時半～15時半

(13時開場)

住まい情報センター 3Fホール

定員 300名

地下鉄谷町線・堺筋線

「天神橋筋六丁目」駅下車

(地図裏面)

★チケット代 前売り 1000 円 当日 1500 円
学生 500 円(当日同額)

主催 「こうのとりのゆりかご IN 関西」 実行委員会

共催 円ブリオ大阪・円ブリオ神戸・京都小さな生命を考える懇談会・母と子のいのちを守る会(滋賀)

後援 大阪府・大阪市・大阪府社会福祉協議会・大阪市社会福祉協議会・日本カトリック医師会
日本カトリック医療施設協会・読売新聞大阪本社

※お申込み 裏面にご記入の上 FAX 送信して下さい 電話・メールでも受け付けます

☆お問合せ 「こうのとりのゆりかご IN 関西」実行委員会 事務局

TEL/FAX 072-763-4571 (広中) メール kansaiyurikago@gmail.com

郵便振替口座 00910-8-332054 「こうのとりのゆりかご IN 関西」

小さいのちを救う ムーブメントを関西から

私どもは「お腹の赤ちゃんも大切な社会の一員」との思いで、お腹の赤ちゃんとお母さんをサポートする活動を続けて参りました。活動の一つ、一口一円の円ブリオ基金では、全国で505人、近畿では47人の赤ちゃんの誕生を支援しました。

平成25年、大阪府の未受診、飛び込み出産は285件。そのうち未成年は50件にも上ります。未受診の主な理由は経済的な理由ですが、未成年の場合は「家族にも言えず、どうしたらいいかわからなかった」が一番多いです。

また、厚労省の児童虐待検証委員会が平成25年度に把握した虐待死事例で、「0歳」が44.4%で最も多く、その調査結果から、未受診や望まない妊娠等、妊娠期・周産期の問題が乳児虐待につながることを指摘しています。

日本で初めて「こうのとりのゆりかご」（赤ちゃんポスト）を開設されました慈恵病院院長の蓮田太二先生を講師にお招きし、円ブリオ大阪で昨年6月『いのちの講演会』を開催致しました。講演の中で、熊本の『こうのとりのゆりかご』に関西からも、赤ちゃんを預けに行く母親が多いこと、又、慈恵病院の妊娠SOS相談には関西の妊婦の相談が多い事を知った参加者から、『こうのとりのゆりかご』が関西にも必要ではないかとの声が上がりました。

そこで、関西にもう一つの『こうのとりのゆりかご』の開設と『妊娠SOS相談事業』の立ち上げを目指して、この度『こうのとりのゆりかご IN 関西』実行委員会を発足する運びとなり、発足記念大会を開催する事となりました。

皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。



会場 住まい情報センター

●所在地 大阪市北区天神橋6丁目4-20

・地下鉄谷町線・堺筋線

「天神橋筋六丁目」駅下車 徒歩2分
3号出口 直結

・JR環状線「天満」駅から北へ徒歩7分

お申込み FAX 072-763-4571

お名前

ご住所 〒

電話番号

お勤め先又は所属団体名

必要枚数